

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、
次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	石清尾山古墳群調査整備会議 第5回整備部会
開催日時	令和元年5月31日(金)14時30分～17時
開催場所	高松市埋蔵文化財センター2階 講座室
議 題	議題1 保存活用計画 保存管理について
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上記理由	
出席委員等	広瀬委員（国立歴史民俗博物館名誉教授）、大久保委員（徳島文理大学教授）、山中委員（香川大学教授）、上杉委員（京都府立大学准教授）、林委員（兵庫県立大学大学院特命教授）、植江田・川崎オブザーバー（四国森林管理局香川森林管理事務所）、川田オブザーバー（香川県栗林公園観光事務所造園課）、西山オブザーバー（香川県みどり保全課）、松本オブザーバー（香川県教育委員会）
欠 席 者	なし
傍 聴 者	0人（定員10人）
担当課及び 連絡先	文化財課（文化財調査係） 823-2714

審議経過及び審議結果

審議経過及び結果

議題1を設定し、主に委員から以下の内容の意見を得た。

1 議題 「保存活用計画『保存管理』について」

（1）群集墳の保存管理について

- ・群集墳の検討課題と調査の計画についても記載しておく方が良い。
- ・既指定の2基の群集墳は、遺存状況の相違点を整理して、それぞれで保存方法を記載した方が良いのではないかな。
- ・墳丘の流失などが懸念されることから、墳丘上に芝を張って保護するということも検討して良いのではないかな。

（2）見学路の整備について（活用の観点を踏まえて）

全体

- ・冒頭に峰山地区と稲荷山地区の活用の方針の違いを記載した方が良い。
- ・高松市がどのような方針で史跡を公開するのかという点が今回の資料では分かりにくいので、明確に記載しておく必要がある。
- ・保存活用計画にどこまでを記載するのか、保存活用計画の認定制度を踏まえて検討すべきである。
- ・活用範囲が史跡指定地をはみ出してしまう場合の方針を検討しておくべきである。

審議経過及び審議結果

墳丘上への見学路整備について

- ・双方中円墳の猫塚古墳 1 基だけを対象とするのではなく、前方後円墳も検討対象としてはどうか。

俯瞰眺望スポットの設定について

- ・見学台の設置は賛成だが、高さなどの具体的な点については検討できる余地を残した方が良い。

墳丘遠望スポットの整備について

- ・石船塚古墳が候補となっているが、次点の策についても検討した方が良い（石船塚古墳の近くに見学台を設置することを検討しているが、ここを遠望スポットとする場合には見学台が見えてしまう可能性があるため）。
- ・遠望スポットの設定に際して、見せ方の方針は具体的に記載した方が良い（樹木伐採の方針・方法など）。
- ・街からの古墳群の見え方にも配慮してはどうか。

（３）関係機関、諸団体との協議について

- ・特別名勝栗林公園に関連する記載内容については、栗林公園の価値を踏まえて十分に配慮した記述として欲しい。
- ・関係機関と十分に協議して、現状変更の取扱をしっかりと調整しておいて欲しい。
- ・都市公園の中にある稲荷山地区の指定古墳について、都市公園法上では「教養施設」と位置付けて上記の行為を実施できる見通しだが、高松市が実施する行為と認識しておいて欲しい。（香川県栗林公園観光事務所）

２ 次回会議について

- ・次回会議は 7 月 31 日に開催し、保存活用計画の「活用」の事務局案を提示する予定。